

ビオトープ管理士 資格試験

世界が注目するCOP10

—ニッポンを
美しい国に!



ビオトープ管理士を目指す方が
より学びやすいよう。
今年は制度が少し変わります。

平成22年度
筆記試験

9.26(日)

受験のお申し込みは
6.1(火)~8.13(金)

ビオトープ管理士 資格試験

札幌 盛岡 仙台
東京 新潟 金沢
長野 松本 静岡
名古屋 大阪 広島
徳島 福岡 鹿児島
キャンパス受験

平成22年度 筆記試験 **9.26(日)**

受験申込受付期間 6.1(火)～8.13(金)

まず、『受験の手引き』を
ご入手ください。[※]

試験の要領と受験申込書のセット『受験の手引き』を、(財)日本生態系協会の公式サイトでダウンロードしてください。無償です。

<http://www.ecosys.or.jp/eco-japan/>

ウェブサイトをご覧になれない、プリンタをお持ちでない…
という場合もご安心を。以下の要領でお取り寄せできます。

- ① A4判を折らずに入れることができる「角形2号」の封筒をご用意いただき、宛先（あなたの住所とお名前）をお書きください。
- ② ①の封筒に、送料・印刷代の代わりとなる240円分の切手、たとえば80円×3枚を添え（貼らないでください）、別の封筒に入れて、協会「ビオトープ管理士係」までお送りください。

(財)日本生態系協会 ビオトープ管理士係
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル



『ビオトープ管理士』は どうやって勉強するの？

『ビオトープ管理士』に関する協会認定の参考書は、まだありません。ただし、それ以上に広く深く学べる書籍を、参考書籍としてご紹介しています。

また、主に2級の受験者を対象とする『ビオトープ管理士セミナー』を、6月から7月にかけて、東京・大阪・名古屋の3都市で開催します。1か月前までにお申し込みいただければ受講料がお安くなるCOP10記念『早期割引』の制度を、ぜひご利用ください。

協会の公式サイトでは、実際に出题された問題を、問題用紙のままご覧いただくこともできます。[※] 自身の経験や経験、スタイルに合った方法で学んでください。

とはいえ、『ビオトープ管理士』にとって現場の感覚はとても大切、机の上の勉強だけでは充分とは言えません。フィールドに赴き、経験を積むことを、併せてお勧めしています。



平成21年度ビオトープ管理士セミナー 東京会場の様子

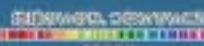
【※1】平成22年度に筆記試験の会場を巡回する予定です。このうち1会場を受験できるのは、札幌、仙台、東京、盛岡、長野、名古屋、大阪、福岡、鹿児島 の9会場です。2会場はいずれの会場でも受験できるほか、「キャンパス受験」の制度もあります。【※2】平成22年度別の「受験の手引き」は、平成22年4月1日(水)12時以降のみ予定です。【※3】平成22年度の試験料金は、協会「エコネット会員のページ」で、平成22年4月1日(水)12時以降のみ予定です。



ECO-JAPAN

(財)日本生態系協会 ビオトープ管理士係

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル
tel. 03-5954-7106 fax. 03-5951-0246
URL <http://www.ecosys.or.jp/eco-japan/>



ECO-JAPAN